

うまい!

岩船米づくり情報 (土づくり編)

平成 28 年 7 月
岩船農業振興協議会
村上農業普及指導センター
JA にいがた岩船

まずは予約から

肥料・農薬予約時期です!!

「土づくり肥料」の施用は重要です!

品質の高い、うまい、岩船米づくりには「土づくり」が欠かせません。

近年、地力が低下傾向にあり、「土づくり」の有無によって等級を落とした事例も増えてきています。特に高温登熟になった場合にその差が大きく出ています。

皆さんのお手元に来年の肥料農薬注文書が届いている頃ですが、変動気象下での米づくりは、「土づくり」が重要であることを再確認し、来年の肥料設計の検討をお願いします。

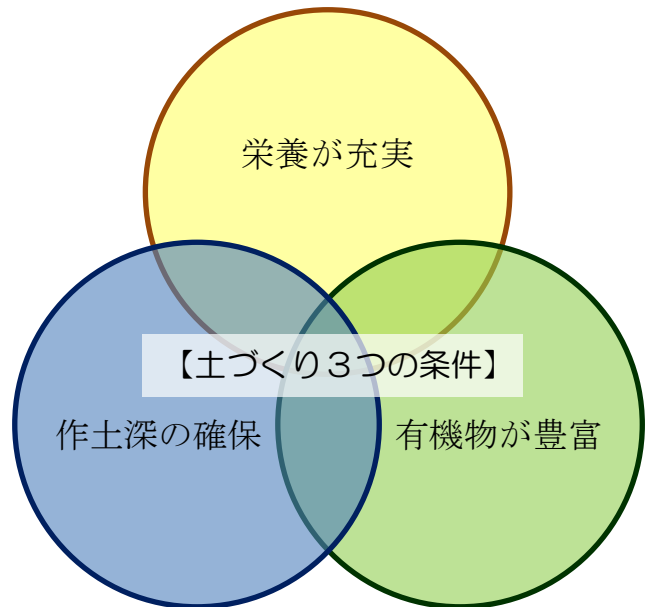
1 土づくりは総合技術

近年、登熟期間の異常高温や後期栄養不足などによりコシヒカリの品質が不安定となっています。

高温の年でも低温の年でも、品質の良い米を生産するには、**健康な根をもつ丈夫な稲づくりが大切**です。

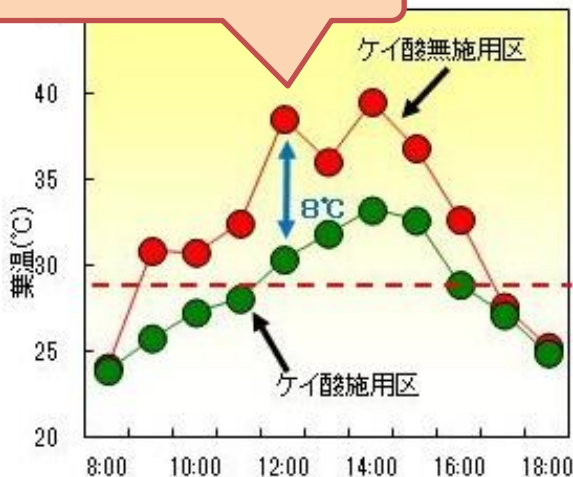
土づくりは、①必要な栄養成分を補給してやるだけでなく、②根がのびのびと育つ作土深、③土の緩衝力を高める豊富な有機物があることが大切です。

あなたの水田は3つの条件がそろっていますか。



2 高温・猛暑で差がでるケイ酸肥料

ケイ酸の施用で、葉温が低下



高温条件における葉温に及ぼすケイ酸の効果

岩船地域では、**ほとんどの地域でケイ酸と鉄が不足**しています。特に河川流域や砂質ほ場では地下浸透の大きな水田では、作土層から徐々に失われています。

ケイ酸を多く含む稲は、**水分を根から吸収して葉から蒸散させる働きが活発**となり稲体の温度を低下させます。

それによって、猛暑時の高温によるデンプン合成阻害の影響を軽減し、**白未熟粒の発生を抑えます**。

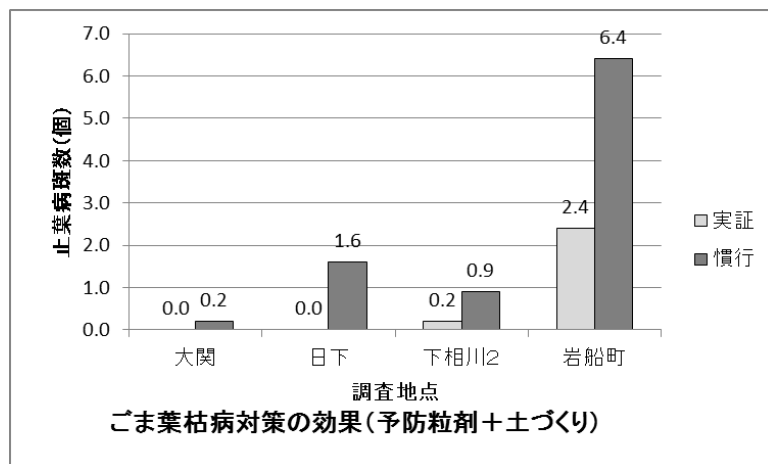
3 ごま葉枯病にはケイ酸、鉄、マンガン

ごま葉枯病は、

- ①砂質土壌等秋落ちしやすいほ場
- ②後期栄養不足になった稲
- ③ワキの発生が多いほ場で発生しやすくなります。

ごま葉枯病が多発生しているほ場では、**薬剤防除だけでなく土づくりが欠かせません。**

ケイ酸、鉄、マンガンを含む資材を施用することでごま葉枯病の抑制に効果があります。



止葉に10個以上の病斑で被害発生

◎ これが土づくりの決定版

JA等と相談し、あなたの田んぼに合った資材を見つけてね!



土壌分析結果	資材名 (例)	主な成分含有率 (%)	標準施用量 (kg/10a)
全ての成分の補給 【砂壤土～壤土・一般的な土づくり】	すくすく岩船米ソイル元気	リン酸 5、カリ 1.5 ケイ酸 20、苦土 2、 鉄 7、マンガン 2	60
鉄・ケイ酸不足が著しい場合 【砂質浅耕土・秋落ち水田など】	マン鉄ソイル	ケイ酸 13.5、鉄 15.5 苦土 4.0 マンガン 1.5	100
	農力アップ	ケイ酸 23.0、鉄 12.0 苦土 2.3 マンガン 3.0	60～100
ケイ酸不足が著しい場合 【砂壤土～壤土・ごま葉枯病常発地等】	けい酸加里プレミア 34	ケイ酸 34、カリ 20、 苦土 4、鉄 5～8	40～60
	ソイルキーパー	ケイ酸 26、カリ 4 苦土 4、腐植酸 4	40
	スーパーシリカプレミアム	ケイ酸 30、苦土 2	60～100
	みつパワー	ケイ酸 25.1、鉄 1.7 苦土 2.7 マンガン 10.0	60～100
ケイカル	ケイ酸 30、苦土 4	120～200	
リン酸とケイ酸、苦土の補給 【壤土～埴土・一般的な土づくり】	粒状ようりん	リン酸 20、 ケイ酸 20、苦土 12	40～60
腐植が不足している場合 【堆肥代替品】	アヅミン	腐植酸 50、苦土 3	20～40
地力低下 (土づくり) 【砂質浅耕土・秋落ち水田など】	畜糞糶殻堆肥など	(例) 窒素 2.2、リン酸 4.9、カリ 2.5、C/N比 16	200～400

